

令和2年度 すみだタウンミーティング

～区長とともに語り合う～

「コロナで変化？これからの地域・これからのつながり」

いただいたご意見・ご提案に対する回答（一例）

【日時】 令和3年1月16日（土）午前10時半～正午

【会場】 オンライン（Zoom）

（配信会場：墨田区役所13階 131会議室）

【参加者】 46名

【当日のテーマ】

- ①地域活動している方の現状・課題
- ②実践していること・新しいアイデア・工夫
- ③今後の展開・すみだの地で何ができるか

※すみだタウンミーティングにていただいたご意見・ご提案に加え、
終了後にお寄せいただいたご意見等もご紹介します。

分野 新型コロナウイルス感染症 <PCR 検査等の情報提供について>

意見の要旨

コロナに関して、どんな経緯、形式で PCR 検査を受けられるのかが、調べてもわかりづらい。

当日の区長発言

区民の皆様には情報をしっかりと届けて安心して生活できるように、また、わかりやすく区民の皆様には説明をしていくということに取り組んでいる。現状は、東京都全体もそうであるが、墨田区内も大変感染者数が増えている。やはり入院させたい方を入院に結びつけられない等、テレビで出ているような状況が各区にある。感染者数増加の中で、PCR検査等も増やしている状況。

いずれにしても、先ほどお話のあったとおり、墨田区の広報紙、それからホームページ・SNS等、さまざまな情報発信をさせていただいている。そこを見ていただくということが一つ。それから、遠慮なく、発熱相談センター等に連絡をいただいて、適切に私どもが皆さんにお知らせをしていくということをして今の状況の中でも、心がけていきたい。

担当部署からの回答

相談窓口については、区ホームページや区のお知らせ等に情報を掲載し、区民の皆さんに情報提供している。また、検査までのフローについても区ホームページに掲載し、情報提供をしている。新型コロナウイルス感染症に関する情報提供については、今後も迅速に対応していく。(保健予防課)

分野

新型コロナウイルス感染症 <現状や課題の把握について>

意見の要旨

タウンミーティングに参加できる人は、困りごとがあってもまだ余力がある人達と考えると、この場には参加できない人達の深刻な課題を知ることが必要なのではないか。コロナ禍において、本当に困っている方はどんな層の方々に、どんなことに困っているのか、区が調査することはできないのか。そこを正しく知り、行政が音頭を取れば、協力したいと思う区民もたくさんいると思う。

当日の区長発言

(タウンミーティング終了後のアンケートにて寄せられた意見のため、区長発言なし。)

担当部署からの回答

新型コロナウイルスの影響を把握するため、区内中小企業を対象に調査を実施した。あわせて、各種相談窓口を設置し、相談・支援体制の強化を図ってきたので、今後も必要に応じてコロナウイルス感染症の区民生活の影響の把握や支援対策に努めていく。(政策担当)

分野 防災 <避難所運営や防災訓練の実施について>

意見の要旨

実際に地震が発生した場合に避難所運営をぶっつけ本番で行うことは厳しいので、避難所の運営や宿泊体験のようなプログラムをやってほしい。さらには、大規模ではなく中規模な訓練の実施の指導をお願いしたい。

また、水害の避難所マニュアルを新しく作っていただいているが、それぞれの小学校・避難所に合わせたマニュアルを作成いただきたい。

当日の区長発言

防災も区政の優先課題で非常に高い位置を占める。一昨年10月の台風19号では、区民の皆さんに大変なご心配と、不安な思いをさせてしまった。その後、しっかり防災対策を整えようとした矢先に、新型コロナウイルスの感染拡大が起きた。避難所運営をはじめとする実地の訓練は重要であり、また情報交換がしにくい状況にあるが、ここをしっかりと準備しないといけない。次に台風が来る頃に、前回から対応が進んでいなかったとならないように、しっかり取り組んでいかなければならない。

明日、1月17日は阪神淡路大震災の日。こういう機会・節目を捉えて、区民の皆さんと、この状況の中で何ができるか、防災に対してどんな思いを共有するかということに取り組まなければならないと改めて感じた。

担当部署からの回答

御意見をいただいたように、災害時の避難所運営については、指定避難所ごとに町会や学校の皆さんを中心に結成された、地域防災活動拠点会議で検討を行っている。区では、平成28年度に地震対応を基本とした「避難所開設運営マニュアル」、令和2年度には水害に対応した「水害時避難場所開設・運営マニュアル」を策定した。現在、各拠点会議において、当該マニュアルを基本に、それぞれの避難所に合わせたマニュアルの策定を進めている。また、各マニュアルに基づいた指定避難所ごとの運営訓練も、行っていきたいと考えている。

なお、今年の総合防災訓練(令和3年11月21日(日)実施予定)では、総合体育館で避難所運営訓練を予定している。(防災課)

分野

観光・都市整備 <三ツ目通りの横断について>

意見の要旨

隅田公園からミズマチを通過してスカイツリー方面へ行く際の、三ツ目通りの横断について。横断歩道がやや離れているので、観光客が戻り、賑わいが増した時に、新たな回遊路が横断できないことは今後問題になるのではないかと懸念されている。

当日の区長発言

三ツ目通りの横断歩道については、東京都、警察等と調整を行っているところだが、この東武の鉄橋の下に橋の勾配があり、坂になっていて、横断歩道の設置というのがなかなか難しいという話もあるが、収束後を見据えてこういうときに先に進めるということは肝に銘じて努力をしていきたい。

担当部署からの回答

区も、三ツ目通りの横断は回遊路として重要であると認識しており、警視庁と、源森橋北側への横断歩道設置について協議している。警視庁からは、前後の信号間隔が短いことや、三ツ目通りがカーブしていて見通しが悪いことが懸念事項として示されている。

今後も引き続き、歩行者の交通量や利用状況を注視しながら警視庁と協議していく。(都市整備課)

分野 環境・地域活動 <墨田区内の緑化について>

意見の要旨

緑被率の低い墨田区に今後もっと緑を増やしていけることを望む。

特に、地域住民と協働して交流農園を創ることは、地域活動の活性化にも繋がる。「すみだの夢応援助成事業」の助成金を使って交流農園を整備したが、資金集めにも適している。他の地域にも交流農園が広がるよう、区としても先導してほしい。

当日の区長発言

(タウンミーティング終了後のアンケートにて寄せられた意見のため、区長発言なし。)

担当部署からの回答

区としても区内の緑地を増やしていきたいと考えており、来年度末に策定予定の「緑の基本計画」の中でも、区内の緑化を進める施策を展開していく予定である。(環境保全課)

交流農園の創設は、「すみだの夢応援助成事業」の助成金を活用した好事例として、今後も様々な場面で周知していきたい。(地域活動推進課)

分野 教育 <学習環境整備の一環としての Wi-Fi 設置について>

意見の要旨

子どもたちが家庭の状況に左右されず学習を進められるよう、Wi-Fi が図書館や児童館などで利用可能になると良い。さらには、図書館などで、外部人材を活用しながら PC やタブレットの活用支援ができると良い。

当日の区長発言

(タウンミーティング終了後のアンケートにて寄せられた意見のため、区長発言なし。)

担当部署からの回答

GIGA スクール構想に基づき、児童・生徒へ 1 人 1 台のタブレット端末を配布するとともに、図書館、コミュニティ会館図書室及び学童クラブで児童・生徒専用の学習用 Wi-Fi の提供を始めた。(庶務課)

調べる学習を支援する講座等を検討していきたい。(ひきふね図書館)

児童館における学習環境の整備を検討していきたい。(子育て政策課)